

【第 41 回対策本部会議】 10 月 7 日

健康福祉部長／本日、4 日ぶりに感染者を確認。20 代の女性。自衛隊の朝霞駐屯地での教育課程に参加しており、詳細は、調査中。防衛省の発表が、このあとあるそうだ。

このグラフは、東京、福岡、佐賀の直近1か月の感染者の推移。佐賀は赤色、単発で 6 件。最近の 2 件は、9 月 26 日の福岡での会食に東京の感染した人がいたものと 10 月 3 日の Go To トラベルを利用した東京の観光客。どちらも東京が感染元で、県内は引き続き安定した状態。

青色は福岡。5 日は、99 日ぶりに新規感染者がゼロ。福岡も落ち着いてきている。

緑色は東京。休み明けに下がる傾向だが、1 日当りの平均は 165 人。まだ注視する必要がある。東京の人は、感染防止を意識して旅行してほしい。

今後の医療体制等の概略を報告する。

毎年、年間約 3,000 万人が国内でインフルエンザの検査を受ける。本県も、発熱を発症する患者が、スムーズに検査や診療を受けられる体制を整える必要がある。

これまで保健所の帰国者・接触者相談センターを経由していた。今後は、まずかかりつけ医に電話で相談する。直接行くと、院内感染の発生の恐れがあるから。

かかりつけ医でコロナ疑いの患者を診療、検査ができれば診てもらう。できない場合は、診療や検査ができる病院を紹介してもらう。診療、検査ができる病院のリストは、県内全病院で共有できるようにしておく。

かかりつけ医がない人や相談するところがわからない人は、受診相談センターに電話で問い合わせ、病院を紹介してもらう。このセンターは、外部委託で立ち上げ、今月中に体制を整え、来月から運用を開始したい。

文化・スポーツ交流局長／国の Go To トラベル事業の概要を説明する。

旅行代金総額の 35%の割引がある。10 月 1 日からは、15%の地域共通クーポン券が発行される。例えば、1 人 1 泊 2 万円の場合、割引額は 7,000 円で支払いは 1 万 3,000 円。加えて 3,000 円分が地域共通クーポン券で配られ、お土産屋、飲食店、観光施設や体験メニューなどで使える。県内では、現在 500 店舗ほどで使える。

クーポンの出し方は、紙クーポンと電子クーポンの 2 種類。旅行代理店やネット旅行代理店で申し込んだ場合は、電子クーポンが多いようだ。宿泊施設に直接持参の場合は、プリントアウトしたクーポンもある。いずれにしても、旅行代金 35%とクーポン券 15%で、総額の 5 割が割引になる。観光事業所にお金が落ちるように使ってほしい。

宿泊施設の状況を説明する。支え愛宿泊キャンペーンと Go To キャンペーンのおかげで、7 月 8 月は昨年比 1 割ほど改善。9 月はプラス 1 割くらい改善してきている。

問題は、Go To クーポンを使って高いところに泊まる人が多く、安いホテルや旅館は効果がでていないこと。団体を受け入れていた施設は、厳しい状況が続いている。また、週末の宿泊は多いが、平日に効果が出ていないとも聞く。

9月補正予算でお願いした支え愛宿泊キャンペーン第2弾は、そこに着目した。県内と九州域内に限り、日曜日から金曜日までに宿泊すると、1人1万円以上の宿泊で5,000円を上限に割引、土曜日は2,000円割引をする。なるべく平日に泊まってもらえるよう仕向けていきたい。

OPEN-AIR 割キャンペーンは、コロナ禍において、どう観光資源を充実させるか考えたもの。10月下旬から2月末まで、最大1人1施設当たり2,000円引き。体験型のものにエントリーすると、2分の1の割引を行う。これは準備中で、改めてご報告する。

産業労働部長／Go To Eat は2種類ある。まず、プレミアム付き食事券の本県での形を説明する。

これは、農林水産省から民間事業者への委託で行われるもので、佐賀広告センターが受託。名称はSAGA おいし〜と食事券。1万円で1万2,500円分、プレミアム率25%の食事券。県下どこでも使える6,000円とエリアの中で使える6,500円がセット。エリアは、都市部に集中しないように5つに分けている。また、人口が少ないところは、地域の住民だけでは賄えないので両方を混ぜてた食事券にしている。

販売場所は最終調整中だが、スーパーやショッピングセンターで買えるようにする。販売にあたっては3密対策が必要なため、往復はがきか予約サイトで事前に予約してもらう。

- ・ウェブ予約は、10月23日から開始、31日から販売して使える予定

- ・往復はがきの場合は、10月16日から受付、11月21日から使える予定

グルメサイトで使える分は、既に始まっている。

問合せは、それぞれのホームページ、コールセンターに。

Go To 商店街は、商店街のよさを再認識するきっかけとなるイベントや商材の開発、あるいはプロモーションの制作に使える。1商店街当たり上限300万円。

複数の商店街で実施する場合は、1商店街当たり300万円掛ける商店街数に500万円加算される。最大3つの商店街が合同でできる。これが上限で1,400万円。商店街の皆さんはぜひ活用してほしい。既に先行で募集が始まっている。

SAGA ナイトテラスチャレンジは、先日第2弾を行った。

第1弾と同じく、9割以上の方から高評価を得たので紹介する。

- ・どのお店ももっと積極的にテラスを利用できるようになればいい、もっと広がればいい

- ・こんな感じで、大通りで楽しく飲む姿が増えれば佐賀の活性化になっていい

- ・雨が少し降ってきたので、テントとかパラソルみたいなものがあつたほうがよかった

第3弾は、24日の佐賀さいこうフェスに併せてスタートする。

今回は、テラス席の自席からスマホで注文すると、そこに料理が届くモバイルオーダーにチャレンジしたい。

第2弾に併せて始まった鹿島市のKASHIMAスカイテラスチャレンジは、17日まで実施している。ぜひ足を運んでほしい。

小林副知事／食事券について質問。エリア指定券は、もともと全部セットなのか。エリアを選べるのかと思っていたが、選べないのか？

坂本副知事／住所地なのか、選択なのか。

産業労働部長／どこでも買える。

小林副知事／その地域住民だけだと消費ができないという説明だった。エリア指定券の6,500円分の中に、唐津も入っていれば、佐賀も入っているという形なのか。

産業労働部長／エリア券と共通券が入っているものが、それぞれのエリアで販売される。

知事／5種類あって、12,500円分が一定のまちだけで使われない工夫がなされているということ。

文化・スポーツ交流局長／国の示した通知を説明する。イベントの種類を2つに分けている。

- ・大声や歓声、声援等が想定される場合、ライブハウスやスポーツイベント
- ・大声や歓声、声援等がないことを前提としたクラシック音楽、伝統芸能、演芸、講演会

催し物の対策の目安は、①人数上限の目安②収容率の目安に分けられる。人数は、①か②のどちらか小さい方を限度とする。

①人数上限目安は、収容定員が設定されている場合、5,000人あるいは収容定員の50%いずれか大きい方。

②収容率の目安は、「参加者が自由に入退場や区域内の移動ができる」場合には、収容数の上限を100%することができる。しかし、大声や歓声、声援が想定される場合は、50%上限になる。

例えば、クラシックの音楽、講演会、合唱、伝承芸能は、9月19日から100%に変わった。

ただ、現状としては3密回避もあり、50%までの運用が多い。

今後、行われる県のイベント等は、消毒の徹底、検温の実施、参加者の把握しながら、コロナ禍の中でも自然なイベントができる形に持っていく、さいこうフェスは、日当たり5,000人上限でやっていきたい。

現在、屋内のホールで 100%の実績はないが、会館側と調整し、収容率 100%のモデルケースとしてチャレンジできないか考えている。決定したら報告する。

経産省で Go To イベントを考えていて、事業者が決まったと聞いた。音楽コンサート、スポーツイベント、伝統芸能などチケット購入の際、2 割相当の割引、クーポン、ポイントが受けられる。県内での具体的な形は調整中だが、国は 10 月下旬に実施したいようだ。中身が固まり次第、報告する。

知事／久しぶりの対策本部会議になった。感染症対策をやりながら活動ができています。医療機関をはじめ、皆さんに感謝したい。チーム佐賀、オール佐賀で対応できていると思っている。これからもよろしくお願ひしたい。

9 月 10 日ぐらいからの 1 か月間、ゼロが続いている。ここに 1 が 3 つあるが、これは東京から持ち込まれたもの。真ん中の 1 は、東京からの Go To トラベルによる旅行者。友達が陽性で、検査を受け陽性が判明し、現在ホテルで療養中。

今日の感染者は、朝霞駐屯地のバーベキューチームの一人。10 月 3 日の時点では陰性で佐賀の自宅で待機。体調が悪かったので検査したら陽性になっていた事例。今はホテルに入られた。濃厚接触者などについてもしっかりと検査をしていく。

東京の感染が続いており、県内でも出てくることがあると思うが、限定的に個々に発生している散発状態。囲い込みができるように力を合わせてやっていく。

平日の宿泊がお得なプランは、県内をよく知ってもらおうチャンス。県民の皆さんにも利用してもらいたい。商店街にも出かけてもらい、活路を見いだそうとしている佐賀の仲間たちを支援してほしい。

Go To Eat のチケットは、これから月末に向けて 60 万枚販売される。ぜひ活用して、県内の経済活動を支援してもらいたい。

これからインフルエンザの季節。体調が優れない場合は、連絡し外出をしない。みんなが気をつけていくことで、今の状態が維持される。

ウイズコロナの時代、佐賀県民が一致団結して乗り切っていきたい。